

激変の情勢の中、こどもの未来を考える

つい先日までの暑さが嘘のような短い秋を迎えています。目まぐるしく変わる気候のように、世界でも日本でも激変の情勢です。日本では史上初の女性総理誕生が注目されていますが、ジェンダー平等や多様性に逆行する発言も目立ちます。憲法改正や防衛費増額の加速化、さらには唐突に出てきた議員定数削減など、今までの地道な議論が一気に覆されそうな動きが進んでいます。

こどもたちの未来のため、日本と世界がどんな方向に進んでいくのか。私たち大人の責任が問われます。

(社会福祉法人西淀川福祉会 理事長 門谷充男)



各園所のようす

ソーラン節におもいをこめて

今年の運動会の職員のとりくみは北海道の「ソーラン節」でした。「こどもたちががんばっているから、自分たちの姿もこどもに見せたい!」と。「そんなに練習もできへんねんから、無理に取り組まなくてもいいのでは…」と園長としては思っていたのですが…。

そんな思いをよそに、日々の保育のあと細々と練習し当日を迎えました。全プログラムの最後の出番、音が途中で切れるアクシデントもありましたが、唄える職員が唄い、観客からは手拍子で支えてもらい踊りきりました。「めっちゃかっこいい!」とはいきませんでした。職員のおもいが集まった「ソーラン節」でした。

毎日が忙しすぎて、流されてしまうことが多い中、一時でも集まって気持ちを形にする、創るといことは大事な、と思わせてくれた「ソーラン節」でした。(よどっこ保育園園長・高橋真澄)

地域の方に支えられた運動会

今年は暑さを考慮し例年より2週間あとにずらして幼児クラスの運動会をおこないました。それでも取り組み期間は暑く、日陰を探しながら遊具や竹馬に取り組んできました。

昨年度は園庭での運動会でしたが、今年度はコミュニティ広場でできるようになりました。保育園のこどもたちが安全に遊ぶことができるようにと町会の方が広場の整地をおこなってくださり、職員にも励ましの声をかけていただき、地域の方に支えられていることを実感しました。

頑張ってきた取り組みを見てもらってたくさんの方に拍手をもらい、親子遊びでたっぷり抱っこやおんぶをしてもらい、「楽しかった!」と、とてもいい表情のこどもたちでした。

(みどり保育園園長・藤本恵美子)

こどもたちの成長を

ともに確認し合って

時々雨がぱらつく中でしたが、運動会を終えることができました。雨雲レーダーをにらみながら、雨が通りすぎるのを待っての運動会でしたが、こどもたちのかわいい姿や頑張る姿に、参加された保護者と一緒に感動を共有できた一日になりました。

幼児の部に移って少し強めの雨で中断した後も、「このまま続行しても大丈夫ですか」と保護者に聞くと、「うん、うん」と大きくなすいてくれ、各クラスのお話の中に入って保護者もハラハラドキドキと一緒に楽しんでくれ、5歳児のエイサー、リレーに保育所みんなで大きな拍手を送りました。心温まる運動会になったことを職員一同で感謝しています。

急に秋を感じるようになり、秋植え野菜の準備や散歩、遠足と楽しいことがいっぱい待っています。また、今年は初めて11月に絵画展を開催します。食欲の秋・芸術の秋・スポーツの秋 etc…と秋をいっぱい楽しみたいと思います。

(佃保育所所長・永谷孝代)

よどっこ保育園の第2園舎改修工事が始まりました。その他想定外の修繕費を含め支出が嵩んでいきます。物価高騰への対策があれば…。(K)